

学習院女子大学における教員養成の理念と教職課程

学習院女子大学は、豊かな教養と地球的視野を持ち、文化の交流と相互理解を通じて国際社会に貢献できる人材の育成を目的としています。本学はこの目的のために国際文化交流に自ら取り組む人材の育成を進めてきましたが、国際文化交流をふまえた学識と文化の継承もまた取り組むべき重要な課題になっています。本学の教職課程はこの課題と直接的に結びつくものです。なぜなら、学校教育は学識と文化の継承の現場の一つだからであり、国際文化交流を教育の現場で実践できる教員を養成することが、本学教職課程の目的となるからです。

なるほど国際文化交流の担い手の養成は高等教育機関の重要な役割であり、それゆえに本学の存在意義があります。しかし、国際文化交流は一部の専門家だけでなく、広く「草の根」の活動としても行われるべきものでもあります。その活動を自らリードするだけでなく、国際文化交流の輪を広げていく次世代の人々を育てることもまた、本学の卒業生が担うべき役割です。学校の現場で国際文化交流について指導できる教員は、本学学則第1条にある「女子の創造的リーダー」の具体像の一つとなるもので、本学が培ってきた教育を受けた教員は、生徒たちを国際文化交流の担い手に育てていくことが期待されます。

本学の教職課程を通じて取得できる免許状は、中学校教諭一種免許状（国語、英語）と高等学校教諭一種免許状（国語、英語）です。本学で学士の学位を取得するとともに教職課程で必要な単位を修得し、都道府県教育委員会に免許状の申請を行って認められると、教員免許状が授与されます。

本学の学士課程の広範にわたる教養教育により、国語や英語に関する知識をより広い文化的・歴史的文脈に位置づけて説明できる力を養います。また、教職課程での学修により、各教科や教職に関する専門的知識や技能の習得を進めます。さらに、教員を志す学生には学校現場での経験が重要であるため、教育職員免許法施行規則で義務づけられている教育実習に加え、本学周辺の自治体や学校法人学習院内の各校の協力を得て、学校でのボランティア活動やインターンシップの機会を提供し、それにより学校活動全体についてより広い知識と経験を有する教員の育成を目指します。

組織的な支援として、同一法人内の男子高等科・中等科、女子高等科・中等科の先生方の協力を得て、学校の現場の視点から助言をいただくとともに、教職課程で実際に特別授業も担当していただいています。

●日本文化学科

（中学校教諭一種免許状（国語）・高等学校教諭一種免許状（国語））

日本文化学科は、本学学則第1条および第3条第3項第1号にもとづき、中学校および高等学校の教壇に立ち、国語教育を通じて日本文化に関する学識を生徒たちに継承していくことを望む学生を対象として、国語教員を養成するための教職課程を設置しています。

本学科が養成を目指すのは次の条件を満たす教員です。

- * 国語教育に必要な知識を十分に有していること。
- * 日本文化について幅広い知識を習得し、生徒に説明する能力を有していること。
- * 教育を通じて国際文化交流に貢献しようとする意志を有していること。
- * 常に教育の質の向上を心がけ、努力を惜しまない姿勢を有していること。
- * 教職に関する広い知識と技能、および教育者に求められる倫理観を有していること。

●国際コミュニケーション学科

(中学校教諭一種免許状(英語)・高等学校教諭一種免許状(英語))

国際コミュニケーション学科は、本学学則第1条および第3条第3項第2号にもとづき、中学校および高等学校の教壇に立ち、英語教育を通じて国際コミュニケーションに関する学識を生徒たちに継承していくことを望む学生を対象として、英語教員を養成するための教職課程を設置しています。

本学科が養成を目指すのは次の条件を満たす教員です。

- * 英語教育に必要な知識と英語能力を十分に有していること。
- * 国際社会と世界各地の文化について幅広い知識を習得し、生徒に説明する能力を有していること。
- * 教育を通じて国際文化交流に貢献しようとする意志を有していること。
- * 常に教育の質の向上を心がけ、努力を惜しまない姿勢を有していること。
- * 教職に関する広い知識と技能、および教育者に求められる倫理観を有していること。

●英語コミュニケーション学科

(中学校教諭一種免許状(英語)・高等学校教諭一種免許状(英語))

英語コミュニケーション学科は、本学学則第1条および第3条第3項第3号にもとづき、中学校および高等学校の教壇に立ち、英語教育を通じて英語コミュニケーションに関する学識を生徒たちに継承していくことを望む学生を対象として、英語教員を養成するための教職課程を設置しています。

本学科が養成を目指すのは次の条件を満たす教員です。

- * 高度な英語教育を実践するのに十分な知識と英語能力を有していること。
- * 自らの留学経験をふまえて異文化理解の意義を生徒に説明する能力を有していること。
- * 教育を通じて国際文化交流に貢献しようとする意志を有していること。
- * 常に教育の質の向上を心がけ、努力を惜しまない姿勢を有していること。
- * 教職に関する広い知識と技能、および教育者に求められる倫理観を有していること。